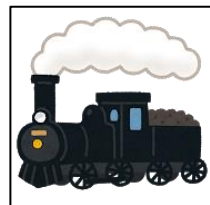


# 夏のおてがみ

中学生のみなさんへ



## ビジュアル日本の鉄道の歴史

梅原 淳／著 ゆまに書房



日本は全国に約28,000kmの鉄道が敷かれており、鉄道大国といえるでしょう。しかし、鉄道は日本で発明されたものではありません。この本では、日本人がはじめてみた鉄道についてや各地に鉄道が開通していった様子が詳しく書かれています。明治時代から現代までの鉄道の歴史を全3巻にわたって紹介しています。

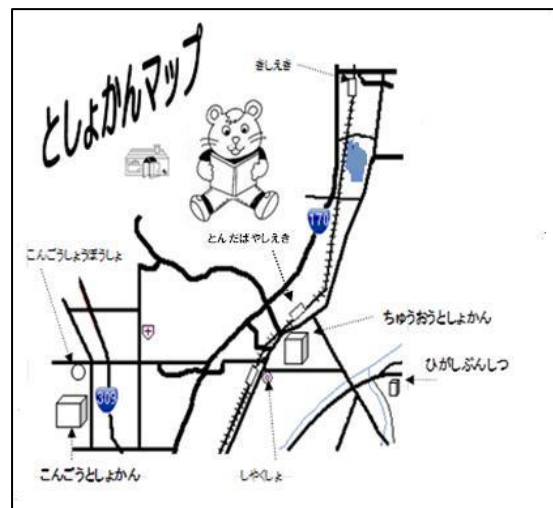


## しばはま

野村 たかあき／文・絵 教育画劇



落語を絵本で楽しんでみませんか？ 江戸時代のことで、芝の浜というところに魚屋の男がいました。仕事がいやで、酒ばかり飲んでいました。ある日、大金の入ったさいふを拾います。よろこんで酒をたくさん買ってきて飲み、寝てしまいました。ところが、目を覚ますとお金がありません。女房に「それは夢だよ」と言われ、がっかりします。



今年はどうな夏休みを過ごすのかな？ちょっと図書館にもきてみて。楽しい本、おどろきっぱいの本がみんなをまっているよ。



## 恋する熱気球

梨屋 アリエ／著 講談社



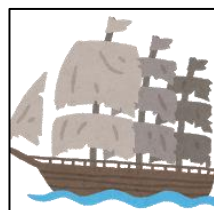
中学3年生の那珂川柚之子はごく普通の女の子。兄がひとり暮らしをはじめてから母の関心が全て柚之子に向いてうっとうしいのが悩み。産休の先生の代わりに来たかっこいいと評判の釜川先生を見ると火が付いたように熱くなる。

この感覚は、まさか恋？すこし不思議な恋のおはなしが5つ収録されている本です。



## チョプラン漂流記 お船がかえる日

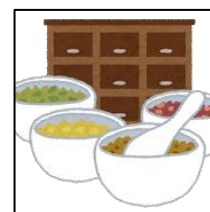
小林 豊／文・絵 岩波書店



江戸時代のおはなしです。八歳の市松は江戸で学問を学ぶため、北海道から船にのります。船は嵐にあい、チョプランという台湾の村に流れ着きます。言葉もわからず、なれない南の国の生活に、流された人々が次々に亡くなり、市松と船頭の二人だけになります。やがて二人は村人と親しくなり、市松はここでの生活が楽しくなります。

## ひらけ蘭学のとびら

鳴海 風／著 関屋 敏隆／画 岩崎書店



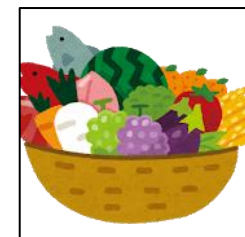
藩医の家に生まれた杉田玄白は、母や父そして姉が死んだ悲しみから、どんな病気やけがでも治せる医者になりたかった。ある日、罪人の死体を観察することができ、内臓がオランダの解剖書にある絵とそっくりだったのでその本を翻訳したいと考えた。「ターヘルアナトミア」が「解体新書」として出版され、近代医学へのとびらをあけたおはなしです。



## アレルギーってなに？

きちんと知ろう！アレルギー1

坂上 博／著 ミネルヴァ書房



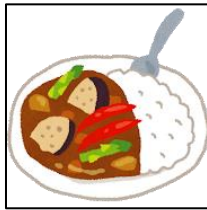
アレルギーとは何でしょうか。みなさんのまわりに、牛乳や卵が食べられなかったり、花粉症でくしゃみがとまらない人はいませんか？それがアレルギーの症状です。ほかにもいろいろなアレルギーの病気があります。なぜアレルギーがおこるのか、どのように対策すればいいのか、知っておきましょう。シリーズは三巻まであります。



## カレーの教科書

石倉 ヒロユキ／編集

シャンカール・ノグチ／監修 岩崎書店



カレーには、とても長い歴史があります。それは、おいしいだけでなく、たくさんのスパイスを組み合わせることによって、さまざまな効能を発揮します。

この本は、歴史や家庭科、国語など様々な教科の視点からカレーをひも解いていきます。好みのスパイスを合わせれば、家で世界に一つだけのカレーを作ることできますよ。



## 戦国武将 人物甲冑大図鑑

本郷 和人／監修 グラフィオ／編

金の星社



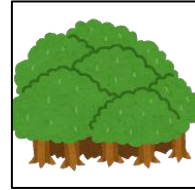
歴史が苦手な人でも、知っている名前前の武将から読むことができます。趣向をこらした兜や甲冑、武具の美しいイラストは、見比べているだけでも楽しめます。そして、たくさんの武将のプロフィールや勢力図、戦国豆知識などを通じて、実在した武将たちの生き様が今の日本にどう繋がってきたかを感じてください。



## ファニー ～13歳の指揮官～

ガリラ・ロンフェデル・アミット／編

伏見 操／訳 岩波書店



1939年、父を警察に連行されたユダヤ人のファニーは「こどもの家」で生活することになるが、戦争は激化し各地を

転々とする中、ユダヤ人迫害の中、子どもたちをスイスに逃がす計画がもちあがる。危険な旅のなか、13歳のファニーはリーダーとなり仲間とともに苦難に立ち向かった。第二次世界大戦中の実話です。



## ぼくたち負け組クラブ

アンドリュー・クレメンツ／著

田中 奈津子／訳 講談社



アレックは一度読書をはじめると、途中でやめることができない。授業中にも本を読んでしまうので、アレックは校長室送りに何度もあっている。そんなアレックは家の事情で放課後プログラムに参加することになった。読書しかしたくないアレックは自分で読書クラブ「負け組クラブ」を立ち上げることにした。

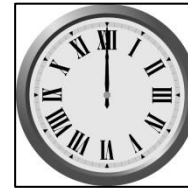


## たのしいローマ数字

デビッド・A・アドラー／文

エドワード・ミラー／絵

千葉 茂樹／訳 光村教育図書



数字といえば、0、1、2…のアラビア数字を思い浮かべますが、I、V、Xなどのローマ数字も本の章の表示や時計の文字盤などで使われています。ローマ数字には、0（ゼロ）を表す文字がありません。一体どんなルールに従って数をあらわすのでしょうか？日本のコインや絵を使ってわかりやすく説明しています。数字って面白いよ！

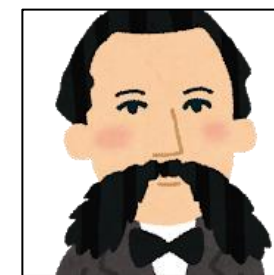


## 明治まるごと歴史図鑑 1 文明開化で日本はこんなに変わった！

深光 富士男／著 河出書房新社



明治は、政府によって文明開化が謳われ、日本が急速に近代化した時代です。積極的に取り入れられた西洋文化は、日本中に広まり、髪型や衣服、食べ物や乗り物も大きく変わりました。上野動物園が開館したのは、明治15年。当時は家畜の展示が主で、ライオンが来園した明治35年には行列ができたそうです。



## 世界に 10000 種もある有毒植物

(びっくりカウントダウン)

ポール・ロケット／文

藤田 千枝／訳 玉川大学出版部



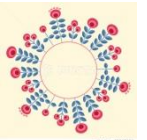
植物にまつわる「数」を取り上げ、さまざまな角度から意外に思うことや、地球とのかかわりを教えてくれる本です。一例を紹介すると、一輪のタンポポの花からうまれる200個ものタネ。そのタネが旅をする距離は99.5%が10m以内、1km以上移動するのは0.014%だけなんですって。人に話したくない知識が載っているかも。



## スウェーデン・サーメのむかしぼなし 巨人の花よめ

菱木 晃子／文

平澤 朋子／絵 BL出版



むかし、スウェーデンの北にサーメ人のネイネパツゲという男がすんでいました。彼は、トナカイとひとりむすめのチャルミをとっても大切にしていました。うつくしくかしこいチャルミのうわさはとおくの国までひろがっていました。そんなある日、トナカイやサーメ人をおそうおそろしい巨人がネイネパツゲをつかまえて、チャルミをよめによこせといいます。

